

みんなの要求みんなて実現！ 広げよう共同の輪！

# 大阪春闘共闘ニュース

No. 16

2011年4月21日発行

〒530-0034 大阪市北区錦町2-2  
国会会館1F 大阪労連気付  
TEL 06 (6353) 6421 FAX (6353) 6420

## JVCケンウッド・ホールディングスは交渉に応じろ！

4月19日の夜から、JM I Uビクターアフターサービス分会の争議解決をめざして、5回目となる弾丸ツアー（夜出発・車中一泊往復ツアー）を決行。今回は、横浜の日本ビクター本社への要請だけでなく、最高裁への早期上告受理・公正判決を求める要請行動も行いました。

JM I U当該はじめ23人がバスに乗車。翌20日（水）午前8時からの日本ビクター本社（JVCケンウッド・ホールディングス）前での行動には神奈川労連、JM I U神奈川地本の仲間も参加して約30人で出勤する日本ビクター従業員らに向けてビラ配布宣伝。日本ビクターに対して親会社の立場から、最高裁判決を待つまでもなく団体交渉に応じるなど争議の早期解決を会社ビクターサービスエンジニアリング(株)に対して決断させるよう指導せよと要請。しかし、会社の対応は相変わらず要請書の受け取りすら拒否するという不当な態度をとるだけでなく、警察を呼ぶという暴挙に出ました。



その後、最高裁に移動し要請行動を。現地から合流した大阪労連川辺議長、全労連高山組織部長、音楽家ユニオン、建交労の各中央本部役員、JM I U三木中央書記長、篠原弁護士、当該ビクターAS分会山口分会長など17名の要請団からは「組合結成から長い時間がたっている、早く受理をしてほしい」「偽装請負という働かされ方に対して憲法判断を」と、新国立劇場事件・イナックス事件同様にビクター事件についても労働者性を認める早期の公正判決を下すよう全員が口頭で要請しました。対応した首席書記官補佐へ署名（団体231 累計914、個人4091 累計6969）を提出しました。要請中には最高裁前で20人の仲間が宣伝を展開しました。

## 「日航の解雇基準は世界の非常識！」支援が世界で広がる

4月20日に東京の日本航空本社前で「日航の不当解雇撤回をめざす国民支援共闘会議」が、昨年の大晦日に首を切られた165人を職場に戻せ！と宣伝行動を行いました。大阪労連からは川辺和宏議長はじめ4人が参加しました。

はじめに、日本乗務員組合連絡会の山崎秀樹議長から「今回の解雇の基準は世界の非常識。10万人のパイロットが加入している国際定期航空操縦士協会連合会の大会で、日航のたたかいを支援する決議を確認した。」と報告。全労連の大黒作治議長、国公労連の岩崎恒男副委員長などから連帯のあいさつ。そして、日航グループ合理化によって発注が止まり、解雇された日東航空整備の泉聖二さんからの怒りの発言に続き、不当解雇を受けた原告の仲間たちから「話し合いをおこなえ！」「大事故につながるミスが多発している。経験のある職員を職場に戻し、空の安全を守ろう」など次々に訴えがありました。



集会の最後に「団結ガンバロウ！」を唱和し、参加した140人がたたかいの決意を固めました。

“春闘スローガン” **すべての労働者の賃上げ・雇用確保を 実現しよう 内需主導の景気回復**

※各単産・地域での支援活動や春闘でのとくみをお知らせください！！メールかFAXで大阪労連へお送り下さい！